

カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター学習会

今日の部落問題のありようと社会

講 師：黒川みどりさん

日本近代史・被差別部落史をご専門とし、著書・講演会、多数。2023年、石川一雄さんの半生を辿る『被差別部落に生まれて 石川一雄が語る狭山事件』（岩波書店）を出版されました。静岡大学教育学部名誉教授。



日 時：2025年7月21日(月・海の日) 午後2時～4時30分

場 所：サクラファミリア（カトリックセンター） 4F 会議室

大阪市北区豊崎 3-12-8

福岡県久留米市教育委員会が開いた人権・同和教育の講座で、講師が事前に送付した資料を、講師である黒川さんに相談しないまま、市の教育委員会が参加者に持参させないという判断をしました。そこには、「賤称語」や被差別部落の自治体名、司法により有罪判決のくだされた「狭山事件」に言及することへの過剰なタブー意識があると思われます。黒川さんは、このことに抗議し、「“隠す”ことに始終しては差別解放の営みはありえない」と言われます。今回の学習会では、この問題を改めて明るみにしてお話いただき、私たちの身近にも起こりえる問題として学びます。

主催：カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

お問合せ・お申込み：カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

☎075-223-3340（月・火・木 10時～17時）

e-mail:bukatu@kyoto.catholic.jp